

第140期中間報告書

自 平成17年 3 月 1 日
至 平成17年 8 月31日



松 竹 株 式 会 社

株主の皆様へ

松 竹 株 式 会 社

代表取締役社長 迫 本 淳 一



株主の皆様におかれましては平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社第140期中間決算についてご報告申し上げます。当上半期の当社の業績は下記のとおりとなりました。

お蔭様で当社は本年創業110周年を迎えることとなりました。良き伝統を生かしつつ新しい変化にも対応し、引続き皆様のご支持を得られるエンタテインメント企業として邁進してまいります。今後も業容拡大、人材強化、経営の効率化等のコーポレートマネジメントを一層強化し、より高い企業価値の実現を目指してまいります所存です。

今後とも皆様のご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

営 業 の 概 況

当上半期のわが国経済は、原油価格の動向に留意する必要はあったものの、企業収益の改善による設備投資の増加や雇用情勢が回復基調となり、個人消費も堅調な推移を見せ、政府・日銀も「踊り場脱却」を発表しました。

映画界では、シネコン開券に伴うスクリーン数の増加や昨年より開始した各社共同の割引キャンペーンが好評を博し、対象ターゲットを広げ、集客力強化につとめましたが、前年に比べヒット作が少なく興行収入は減少しました。演劇界では、歌舞伎の襲名興行が大きな話題となり、インターネットでの切符販売も好稼動し、観客層の拡大につながりました。

このような中で当社は、蜷川演出による新たな歌舞伎の上演、時代の流れに沿ったブロードバンド・セクションの設置、創業110周年企画新人女優オーディション「松竹STAR GATE」等の新機軸を打出しております。また、当社の更なる活性化を目的とするプロジェクトチームの発足、個人情報保護等のコンプライアンス体制およびリスクマネジメント体制の構築等の様々な施策を実施し、企業価値向上につとめました。

以上の他にも原価抑制を図る等の企業努力を積み重ねてまいりましたが、当上半期の売上高は33,608百万円（前年同期比96.4%）に止まり、経常損失は509百万円（前年同期比2,664百万円減）になりました。特別損失348百万円を計上しました結果、中間純損失は443百万円（前年同期比1,392百万円減）となりました。

なお、中間配当は従来より実施しておりませんのでご理解下さるようお願い申し上げます。

今後も更に経営努力を続け、株主の皆様のご期待に沿えるようつとめます。

以下各部門の概況をご報告申し上げます。

映像部門 配給は、邦画15本、洋画6本を配給しました。「機動戦士Zガンダム 星を継ぐ者」や「劇場版 鋼の錬金術師」等のアニメ作品がヒットし、「亡国のイージス」や「妖怪大戦争」も好調に推移しました。

興行では、大作に恵まれず、前年上半期の実績を下回るかたちとなりました。なお、昨年11月にオープンした共同運営による「109シネマズMM横浜」、今年4月スクリーンを増設した「MOVIX京都」は順調に稼動しております。

テレビは、8作品31本を制作しました。終戦60周年ドラマ「二十四の瞳」が高い評価を受け、2時間ドラマ「年下の人」が支持を得ました。また、好評の2時間ドラマ

シリーズ「京都祇園入り婿刑事12」や「剣客商売スペシャル3」等を制作し、番組販売も堅調に売上を伸ばしました。

ビデオは、「隠し剣 鬼の爪」「モンスター」等の話題作の発売や、「SHV・ハリウッドキャンペーン」が好評でした。また、「中村勘三郎襲名記念DVD-BOX」を発売し、作品のバリエーションも広げました。

上記に加え、映像ソフトのテレビ放映権販売を中心に、各メディアへの利用権販売等を積極的に進めました。

映像部門の上半期の売上高は16,988百万円（前年同期比95.3%）となりました。

演劇部門 東京・大阪と4ヶ月間に及ぶ十八代目中村勘三郎襲名披露興行が大絶賛を受け、今後2年に亘る襲名披露興行のスタートを成功裡に収めることができました。襲名以外では、歌舞伎座は「NINAGAWA十二夜」、八月納涼歌舞伎も魅力ある演目と配役で話題を呼び、好成績を収めました。新橋演舞場は舟木一夫特別公演、6月リニューアル後初の公演となった田村正和の「新・乾いて候」が健闘しました。シアターコクーンは「桜姫」は歌舞伎の古典を新演出で上演し人気を博しました。関西では、大阪松竹座の藤山直美・沢田研二「夫婦善哉」が好評を得、南座の「坂東玉三郎特別公演」が人気を呼び、好稼働しました。恒例のこんびら歌舞伎や公文協主催の歌舞伎公演の巡業および博多座はじめ他劇場での公演も収益に寄与しました。また、韓国とアメリカでの大歌舞伎近松座公演が現地で高い評価を受け、国際文化交流に貢献しました。

演劇部門の上半期の売上高は11,830百万円（前年同期比105.3%）となりました。

事業部門 不動産賃貸では、東劇ビル、大船ショッピングセンター、浜松松竹ビル等が順調に稼働しました。また、各ビルとも電力契約の見直しや東劇ビル地下駐車場のインバータ設置といった経費削減策を実施し、一層の効率化に努めました。

出版・商品販売では「機動戦士Zガンダム 星を継ぐ者」「劇場版 鋼の錬金術師」がプログラム、キャラクター商品販売において目標を上回り、2月に開店した「トゥ・ザ・ハーブズ汐留店」や昨年末にオープンした浜松のインターネットカフェも既存店舗ともども好調な売上となりました。

事業部門の上半期の売上高は4,789百万円（前年同期比82.4%）となりました。

今後のわが国経済は、景気回復の続伸が予想されるものの、消費者の価値観が更に多様化する中で、当業界は厳しい経営環境が依然続くものと思われます。

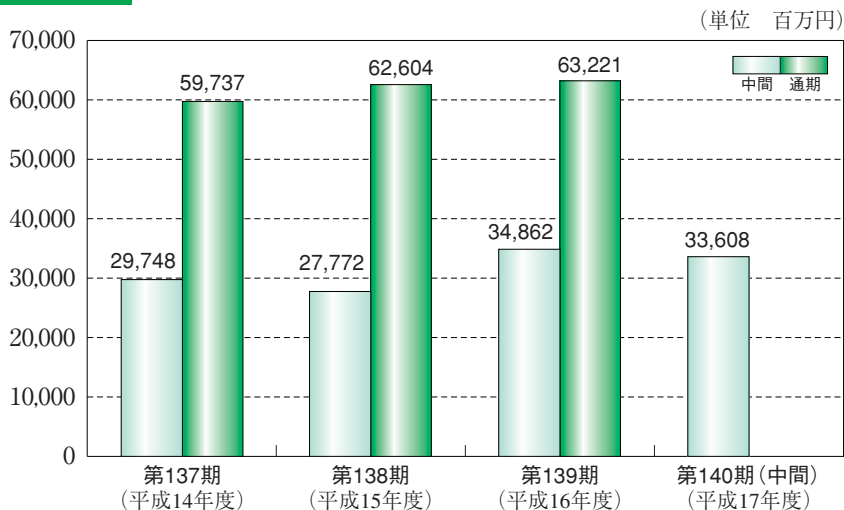
当社は、市場や経営環境の変化にも速やかに対応し、お客様へのサービスを第一に考える営業努力を重ねるとともに、リスクマネジメント、コンプライアンス体制の一層の強化を図り、人材育成を促進し、松竹の企業価値を更に高め、株主の皆様のご期待に応えることができるよう邁進いたします所存です。

下半期の映像部門では、国内初の個人向け映画ファンド「忍-SHINOBI」や「レジェンド・オブ・ゾロ」「TAKESHIS」「SAYURI」を配給し、興行では、「チャーリーとチョコレート工場」「シンデレラマン」「私の頭の中の消しゴム」「ハリー・ポッターと炎のゴブレット」等の期待できる大作で業績向上を目指します。演劇部門では南座の吉例顔見世興行から始まる四代目坂田藤十郎襲名興行をはじめ、公文協西巡業コース市川海老蔵襲名披露興行や御園座中村勘三郎襲名披露興行、新橋演舞場での中村勘三郎・藤山直美の「ヨイショ!の神様」等魅力ある演目で、多くのお客様の期待に応えます。事業部門では、不動産の有効活用を図り、出版・商品・イベント事業とともにモバイルビジネスにおいても、新たに「占いサイト」を展開します。

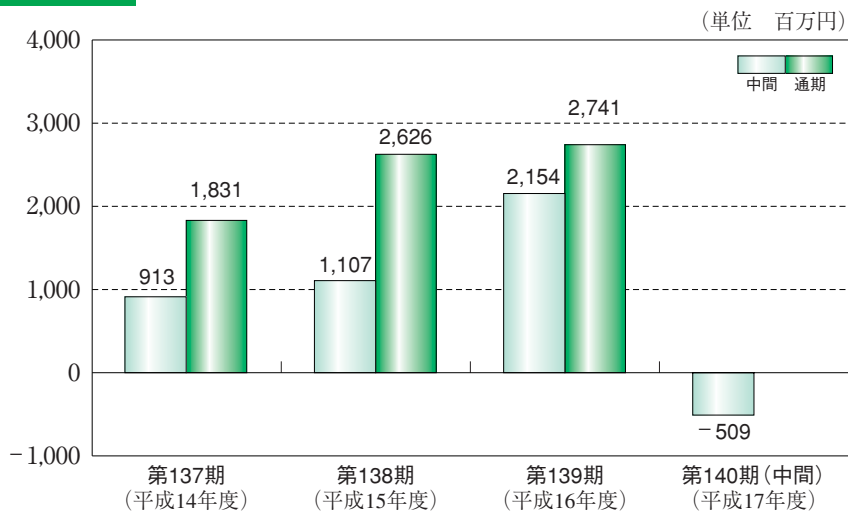
何卒、今後とも株主の皆様の一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

[業績の推移]

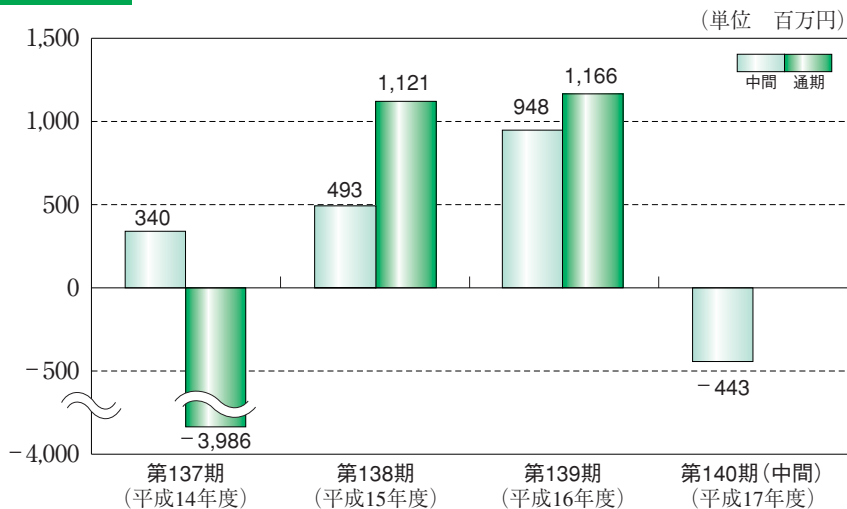
売上高



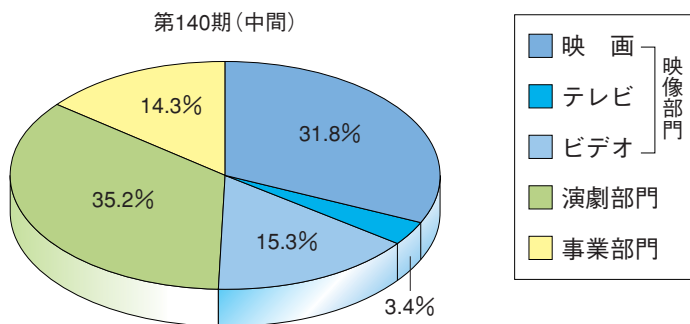
経常利益



当期純利益



部門別売上



中間貸借対照表

(平成17年 8月31日現在)

(単位 千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	25,989,517	流 動 負 債	26,026,565
現金及び預金	3,535,427	買掛金	3,983,840
受取手形	106,550	短期借入金	10,862,830
売掛金	7,394,700	社債(1年以内償還)	400,000
製成品	3,438,404	未払金	6,776,329
材成品	203,782	未払費用	400,867
仕掛品	21,561	未払配当金	7,941
原価	1,535,401	未払事業所税等	22,652
貯蔵品	687,137	未払法人税等	64,486
前払費用	3,933,836	未払消費税等	81,105
繰延税金資産	210,835	前受金	2,115,445
短期貸付金	1,409,731	預り金	962,341
立替金	1,326,400	賞与引当金	212,652
その他の流動資産	1,035,989	その他の流動負債	136,072
貸倒引当金	1,161,737	固 定 負 債	38,099,192
固 定 資 産	△11,980	社 債	3,400,000
有形固定資産	83,320,902	長期借入金	25,056,810
建物	43,197,181	繰延税金負債	1,876,760
建設物	19,640,023	退職給付引当金	1,486,663
構築物	6,911,447	役員退職慰労引当金	653,862
機械及び装置	116,634	受入保証金	5,625,095
車両運搬具	733,430		
工具・器具・備品	15,095	負 債 合 計	64,125,757
土地	982,798		
建設仮勘定	14,744,113	資 本 の 部	
無形固定資産	53,638	資 本 金	22,651,795
借地権	1,380,923	資 本 剰 余 金	15,376,948
商標	974,866	資本準備金	13,364,597
ソフトウェア	4,777	資本剰余金	2,012,351
投資その他の資産	401,280	資本金及び資本準備金減少差益	2,011,583
投資有価証券	38,742,797	自己株式処分差益	768
関係会社株式	14,511,449	利 益 剰 余 金	2,525,713
出資資金	8,568,715	任意積立金	973,015
長期貸付金	9,312,288	固定資産圧縮積立金	973,015
差入保証金	2,149,000	中間未処分利益	1,552,697
その他の投資資金	5,176,834	株式等評価差額金	5,045,300
貸倒引当金	855,926	自 己 株 式	△404,534
繰延税金資産	△1,831,416	資 本 合 計	45,195,222
新株発行費	10,561		
	10,561	負債・資本合計	109,320,980
資 産 合 計	109,320,980		

- (注) 1. 関係会社に対する短期金銭債権 930,547千円
2. 関係会社に対する短期金銭債務 776,813千円
3. 有形固定資産の減価償却累計額 27,222,713千円
4. リース資産
貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している重要な固定資産として電子計算機及び劇場調光設備等があります。なお、当期の支払リース料は 128,012千円であります。
5. 建物 15,140,341千円 土地 2,855,236千円 投資有価証券 8,224,486千円 関係会社株式 154,501千円
上記のほかに、子会社の銀行借入金を担保するため、建物 478,228千円 土地 2,682,401千円
投資有価証券 366,151千円 関係会社株式 15,628千円を物上保証に供しております。
6. 保証債務残高 8,424,091千円
7. 商法施行規則第124条第3号に規定する純資産額 5,045,300千円
8. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

(自 平成17年 3 月 1 日)
(至 平成17年 8 月31日)

(単位 千円)

科 目	金 額
経 常 損 益 の 部	
営 業 損 益 の 部	
売 上 高	33,608,948
売 上 原 価	20,163,477
販売費及び一般管理費	13,570,154
営 業 損 失	124,683
営 業 外 損 益 の 部	
営 業 外 収 益	
受取利息及び配当金	406,668
その他の営業外収益	72,342
計	479,010
営 業 外 費 用	
支 払 利 息	284,171
その他の営業外費用	579,811
計	863,983
経 常 損 失	509,655
特 別 損 益 の 部	
特 別 損 失	
関係会社株式評価損	348,981
計	348,981
税引前中間純損失	858,636
法人税、住民税及び事業税	12,866
法人税等調整額	△427,806
中 間 純 損 失	443,696
前 期 繰 越 利 益	1,996,393
中 間 未 処 分 利 益	1,552,697

(注)1. 関係会社との取引高

売 上 高	1,113,834千円
営 業 費 用	2,828,369千円
営業取引以外の取引高	238,356千円

2. 1株当たり中間純損失 4円17銭

3. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結貸借対照表

(平成17年 8月31日現在)

(単位 千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	36,574,489	流 動 負 債	32,728,802
現金及び預金	10,932,370	支払手形及び買掛金	6,509,703
受取手形及び売掛金	8,736,819	短 期 借 入 金	8,280,800
た な 卸 資 産	7,291,034	一年以内返済予定長期借入金	4,824,490
前 渡 金	4,051,964	一年以内償還社債	400,000
前 払 費 用	616,360	未 払 金	7,641,412
繰延税金資産	1,467,269	未 払 費 用	502,576
立 替 金	924,747	未払事業所税	40,948
そ の 他	2,572,577	未払法人税等	643,707
貸倒引当金	△18,655	未払消費税等	161,245
固 定 資 産	88,638,029	繰延税金負債	886
有形固定資産	51,337,502	賞与引当金	240,685
建物及び構築物	20,461,774	そ の 他	3,482,347
設 備	13,266,142	固 定 負 債	45,946,435
機械装置及び運搬具	900,116	社 債	3,400,000
工具・器具・備品	1,444,720	長 期 借 入 金	30,852,439
土 地	15,144,936	繰延税金負債	2,900,237
建設仮勘定	53,638	退職給付引当金	2,246,794
そ の 他	66,173	役員退職慰労引当金	656,262
無形固定資産	2,188,300	受 入 保 証 金	5,890,701
借 地 権	1,080,475	負 債 合 計	78,675,237
商 標 権	5,499	少 数 株 主 持 分	2,290,197
ソフトウェア	568,661	少 数 株 主 持 分	2,290,197
連結調整勘定	428,277	資 本 の 部	
そ の 他	105,386	資 本 金	22,651,795
投資その他の資産	35,112,226	資 本 剰 余 金	15,376,948
投資有価証券	15,854,999	利 益 剰 余 金	2,062,691
出 資 金	9,316,438	その他有価証券評価差額金	5,053,558
長期貸付金	598,801	自 己 株 式	△874,120
長期前払費用	261,229	資 本 合 計	44,270,872
繰延税金資産	153,282	負債、少数株主持分及び資本合計	125,236,307
差入保証金	7,239,116		
そ の 他	1,885,351		
貸倒引当金	△196,991		
繰 延 資 産	23,789		
新株発行費用	10,962		
開 発 費	12,827		
資 産 合 計	125,236,307		

中間連結損益計算書

(自 平成17年 3 月 1 日)
(至 平成17年 8 月31日)

(単位 千円)

科 目	金 額
売 上 高	47,684,300
売 上 原 価	27,823,851
販売費及び一般管理費	19,132,981
営 業 利 益	727,467
営 業 外 収 益	398,420
営 業 外 費 用	969,639
経 常 利 益	156,248
特 別 利 益	21,277
特 別 損 失	76,752
税金等調整前中間純利益	100,772
法人税、住民税及び事業税	587,575
法 人 税 等 調 整 額	△304,167
少数株主利益(控除)	207,651
中 間 純 損 失	390,287

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(自 平成17年 3 月 1 日)
(至 平成17年 8 月31日)

(単位 千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	456,953
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,240,429
財務活動によるキャッシュ・フロー	669,759
現金及び現金同等物に係る換算差額	11
現金及び現金同等物の減少額	△3,113,704
現金及び現金同等物の期首残高	13,652,410
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△3,871
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,534,834

会社の概要

商 号 松 竹 株 式 会 社
 設 立 大 正 9 年 11 月
 資 本 金 22,651,795,022円
 発行済株式総数 106,984,278株
 株 主 数 20,435名
 従業員数 664名

本社、支社および営業所

本 社

東京都中央区築地四丁目1番1号

関 東 支 社 (東 京)

関 西 支 社 (大 阪)

九州営業所 (福 岡)

<http://www.shochiku.co.jp>

役 員

取 締 役 会 長	永 山 武 臣
代表取締役副会長	大 谷 信 義
代表取締役社長	迫 本 淳 一
専 務 取 締 役	大 川 武 夫
専 務 取 締 役	野 田 助 嗣
専 務 取 締 役	安孫子 正 司
常 務 取 締 役	山 本 雅 司
常 務 取 締 役	大 沼 信 之
常 務 取 締 役	安 川 好 一
常 務 取 締 役	久 松 猛 朗
常 務 取 締 役	中 島 厚 仁
取 締 役 相 談 役	清 水 仁 昇
取 締 役	油 谷 信 彦
取 締 役	白 井 雅 彦
取 締 役	関 本 輝 起
常 勤 監 査 役	岡 田 敏 明
監 査 役	河 村 直 治
監 査 役	上 坂 凱 勇
監 査 役	柏 木 俊 彦

(平成17年 8 月31日現在)

株 主 メ モ

決 算 期	毎年 2 月末日
配当金受領株主確定日	毎年 2 月末日 中間配当を実施するときは 8 月末日
定 時 株 主 総 会	毎年 5 月下旬
基 準 日	毎年 2 月末日 このほか必要があるときは予め公告して基準日を定めます。
名 義 書 換 代 理 人	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 5 号 三菱 U F J 信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 5 号 三菱 U F J 信託銀行株式会社 証券代行部
(同 連 絡 先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱 U F J 信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711
同 取 次 所	三菱 U F J 信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店 ※株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱 U F J 信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。 電話 0120-244-479 (本店証券代行部) 0120-684-479 (大阪証券代行部) インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
公 告 掲 載 新 聞	東京都において発行する日本経済新聞 ※当社は決算公告に代えて貸借対照表および損益計算書を当社のホームページの次のアドレスに掲載しております。 http://www.shochiku.co.jp/guide/koukoku

株 主 優 待 基 準

【株主優待期間】

権利日	映画優待	演劇優待
平成17年 8 月末日	平成17年12月～平成18年 5 月	平成17年11月～平成18年 5 月
平成18年 2 月末日	平成18年 6 月～平成18年11月	平成18年 6 月～平成18年11月
平成18年 8 月末日	平成18年12月～平成19年 5 月	平成18年12月～平成19年 5 月

※半年ごとに株主様へ株主優待内容通知をご送付いたします。

【映画優待】

保有株式数	半期優待ポイント数	月間使用限度
1,000 株以上	80 ポイント	40 ポイント
2,000 株以上	160 〃	60 〃
3,000 株以上	200 〃	80 〃
5,000 株以上	280 〃	100 〃
8,000 株以上	400 〃	120 〃
10,000 株以上	480 〃	140 〃

※10 ポイントにつき 1 回の入場

【演劇優待】

保有株式数	平成17年 8 月末日権利確定分 (7ヶ月招待券枚数)	平成18年 2 月末日権利確定分以降 (半期招待券枚数)
3,000 株以上	2 枚	2 枚
5,000 株以上	5 枚	4 枚
8,000 株以上	7 枚	6 枚
10,000 株以上	9 枚	8 枚
15,000 株以上	14枚	12枚
20,000 株以上	19枚	16枚

